

2010 年度(平成 22 年度)

事業報告書

自 2010 年 4 月 1 日

至 2011 年 1 月 5 日

社団法人企業メセナ協議会

Ⅰ 法人の概況

1. 法人設立年月

1990年4月20日

2. 定款に定める目的

この法人は、芸術文化活動に対する支援を行う企業相互の連絡協議を図り、芸術文化支援に係わる啓発、情報提供、顕彰等を行うとともに、企業と協力して芸術文化活動への助成を行い、もってわが国の芸術文化の向上、発展に寄与することを目的とする。

3. 定款に定める事業内容

- (1) 芸術文化に関する啓発・普及
- (2) 芸術文化支援に係わる情報の収集と配布、並びに仲介
- (3) 芸術文化支援活動の調査・研究
- (4) 芸術文化支援活動の顕彰
- (5) 海外の同種の機関との交流
- (6) 企業との協力による芸術文化活動への助成
- (7) その他、この法人の目的を達成するために必要な事業

4. 所管官庁に関する事項

文化庁 文化部 芸術文化課

5. 公益社団法人への移行に関する事項

2010年8月20日に公益社団法人への移行認定申請を行い、12月10日に申請先：内閣府公益認定等委員会の審議を受け、12月17日付発表の答申で移行認定が決定しました。2011年1月5日に認定書が発行され、翌日1月6日に公益社団法人の設立登記を行いました。

* 新法人移行申請日：2010年8月20日(金)

* 認定日：2011年1月5日(水) [社団法人解散日]

* 登記日：2011年1月6日(木) [公益社団法人設立日]

6. 会議等の開催状況

| 会議名 | 回数 | 会議名 | 回数 |
|------|----|-------------|----|
| 理事会 | 2回 | 大賞部会 | 4回 |
| 通常総会 | 1回 | 研究部会 | 3回 |
| 幹事会 | 5回 | 助成選考委員会 | 4回 |
| 調査部会 | 3回 | メセナ アワード審査会 | 2回 |

II 事業の状況

1. 促進普及事業

1.1 セミナー、シンポジウム

【全体の振り返り】

2010 年度セミナー事業は、すべての企画が、協議会会員からの積極的な開催要望や、外部機関からの共催打診によって実現したことが特徴的でした。ニーズを迅速に反映し、連携企業・団体と資源を互いに持ち寄って他に無い企画を提供することで、協議会の活動、企業メセナに対する新たな関心層が生まれることを、参加者数(各回ほぼ目標定員)や、参加者の事後感想(ツイッター、ブログ、アンケート)等で実感できました。

なお、2010 年度のセミナー事業は、12 月に開催した 20 周年記念事業とのバランスを考え、前半に集中して行いました。

【各回開催状況】

| 開催日 | 会場 | テーマ・内容 | 参加者 |
|------------------------|--|--|---------------------------------|
| 【2010-No.1】 4/20(火) | 資生堂企業資料館・資生堂アートハウス (静岡・掛川市) | フィールド視察「資生堂メセナの現場を訪れる～資生堂企業資料館・アートハウス@掛川～」 館内ツアーと説明：岡田恭子(資生堂企業資料館・資生堂アートハウス館長) 静岡・掛川の資生堂企業資料館とアートハウスを訪問。岡田館長のご案内で、資生堂の長年にわたる文化資源の蓄積と美術支援の足跡を学んだ。「企業の文化」を理解し、「企業と文化」のかかわりを知る視察となった。 | 27 名 (定員 30 名) |
| 【2010-No.2】 5/26(水) | 第一鉄鋼ビル 地下会議室A (東京) | 公開セミナー「ゼロから知る！メセナ入門講座～メセナの概要、最新トピックスから、アートNPO情報、実務のヒントまで～」 第1部：「これだけはおさえたい、企業メセナの基礎知識」 荻原康子(企業メセナ協議会プログラム・ディレクター) 第2部：「アートNPOの動向と企業との連携」 吉村真也 (TOA[株] 広報室社会貢献・メセナ担当) 樋口貞幸 (NPO 法人アートNPOリンク 事務局長) 第3部：「メセナなんでもQ&A」 恒例の新任担当者＋企業メセナを改めて学びたい方向けセミナー。冒頭にメセナ概論、企業メセナの20年等をレクチャー後、TOA吉村氏とアートNPOリンクの樋口氏が実際の連携事業を例に、企業メセナの目的とNPOのミッションを共有したうえで、協働の利点や、アートの本質的な価値について議論した。参加者からは、現場の本音が聞けたとの感想があった。 | 41 名 (定員 50 名) |
| 【2010-No.3】 6/29(火) | 六本木ヒルズ アカデミーヒルズ オーデトリウム 49 階 (東京) | 企業メセナ協議会 / プリティッシュ・カウンシル共催シンポジウム 「文化セクターの運営と人材育成の未来～英国ロイヤル・オペラ・ハウスの新たな挑戦から～」 基調講演：トニー・ホール(ロイヤル・オペラ・ハウス チーフ・エグゼクティブ) パネルディスカッション：片岡真実(森美術館チーフ・キュレーター)、高萩宏(東京芸術劇場副館長)、トニー・ホール、片山正夫(セゾン文化財団常務理事) モデレーター | 約 150 名 (定員 150 名) |

| | | | |
|---|----------------------------|--|-------------------------------|
| | | <p>民間の発想で老舗芸術団体の経営を大胆に変革してきたと評価される英国ロイヤル・オペラ・ハウスのトニー・ホール氏を迎えた。基調講演では、大胆な顧客開発の実践事例や組織の人材育成の現状が披露された。後半は「戦略的な組織運営」等、日英双方の課題について活発に意見が交わされた。共催により単独では招聘できない講師を迎えることができた。片山氏、高萩氏など、協議会会員にも講師としてご協力いただいた。</p> | |
| <p>[2010-No.4] 9/26(日) ~9/28(火)</p> | <p>瀬戸内海諸島 + 高松(香川)</p> | <p>フィールド視察 2010 「自然の恵み、地域の魅力、人間の創造力を感じる 3 日間「瀬戸内国際芸術祭 2010」を巡る」 協力: [株]ベネッセホールディングス</p> <p>芸術祭総合ディレクターの北川フラム氏やボランティアサポーター「こえび隊」小野氏、小豆島の NPO「ドリームアイランド」の立花律子氏等、芸術祭に深く関わっている方々にガイドいただき島々を視察。作品以外にも、地域活性や社会的包摂、少子高齢社会、過疎、環境、食や農、島嶼部の歴史的背景、それらとアートのかかわりについても考える 3 日間となった。「日本が忘れそうになっている何か、日本人の根っこにあるはずの何かを気づかせてくれる場だった」、「地域にある文化を現代アートが呼び覚ます、文化の力を実感」、「ガイドの方々の説明で、作品だけでは見えてこない時間や人々のかかわりがよくわかる奥深いツアーだった」、「人モノ金がシュリンクしていく今の日本で、地域の人・歴史・企業がつながり何かを生み出す様子に一つの未来の形を見た」等々、終了後も参加者同士のメールが活発に飛び交った。 ベネッセホールディングスに協力いただき、他にない魅力的な企画内容になり、一般からの参加申し込みが枠を超えて届き続けた。</p> | <p>25 名 (定員 25 名)</p> |

1.2 広報活動

今期は、継続して情報配信している事業のほかに、協議会設立 20 周年に関する情報配信も以下のように行いました。本年は 20 周年であったため、基幹事業のプレスリリースをまとめて行ったり、記者発表会ではない発表方法をとったりと、新たな試みをいくつか行いました。その結果、社説やコラムなど大きな紙面で掲載されるほか、全国紙のオンライン・ニュースに 20 年分の活動を大きく取り上げられたりするなど、例年の 1.5 倍ほどの掲載・露出がありました。

(1) プレスリリースによる情報発信

No.1 企業メセナ協議会設立 20 周年

創造的で活力あふれる豊かな社会の実現へ向けて

(4 月 1 日配信 / No.2 と同時配信、掲載件数: 8 件)

No.2「メセナ アワード 2010」

芸術文化の振興に貢献した企業・企業財団の活動を 5 月 31 日まで募集

(4 月 1 日配信 / No.1 と同時配信、掲載件数: 11 件)

ブリティッシュ・カウンシルとの共同配信

主催:ブリティッシュ・カウンシル / 共催:企業メセナ協議会

文化セクターの運営と人材育成の未来

～英国ロイヤル・オペラ・ハウスの新たな挑戦から～

2010年6月29日(火) 六本木ヒルズ アカデミーヒルズ オーディトリウム

(6月配信、掲載件数:1件)

No.3 メセナフォーラム 2010

創造力が社会をひらく～企業メセナの深化と実践、これからの芸術・文化～

2010年10月20日より申込み受け開始

「メセナ アワード 2010」の最新情報も同時配信

(10月18日配信、掲載件数 163件 No.4と同時掲載含む)

No.4 「メセナ アワード 2010」受賞企業・活動決定

メセナフォーラム 2010 の最新情報も同時配信

(10月26日配信、11月1日朝刊解禁、掲載件数 163件 No.3と同時掲載含む)

(2) その他広報対応

北海道新聞・論説委員

5月5日【卓上四季】掲載(協議会20周年について)

読売新聞大阪本社・生活部記者

8月1日【風の座標軸】文化芸術の支援 活動評価の仕組み作り掲載
ヨミウリオンライン(読売新聞東京本社・メディア戦略局)

11月2日 マネー経済「企業ナビ」

メセナ大賞に中村ブレイス、石見銀山の町に貢献

あらたにす(日経・朝日・読売インターネット事業組合)

11月9日 専門家の視点

メセナ、新しいうねりに期待 加藤恒夫 企業メセナ協議会専務理事

読売新聞東京本社・論説委員

11月28日【社説】企業メセナ 文化支援での役割大きい

日本経済新聞・文化部編集委員

12月20日夕刊 企業メセナ協議会、過疎地支援促す 地域と文化
「連携」進む

その他

直接取材・電話取材等約80件程度、関連記事74件掲載

1.3 関西事務所

以下のとおり、東京の事務局から職員(事務局長)が出張し、広くメセナに関する質問・相談対応、助成認定活動等の相談業務を実施しました。

6月3日(木)、7月28日(水)、12月15日(水)

2. 情報集配仲介事業

2.1 発信事業

2.1-1. 情報誌の発行

協議会機関誌『メセナ note』(32頁・A5判、季刊発行、4,000～7,000部)の65～67号を次の内容で発行。会員はじめ年間購読者、協議会関係者や図書館等に送付しました。前年度の最終号である64号(2010年3月発行)より、紙面レイアウトを大きく変更し、ページ数を倍増。毎回特集テーマを設けるほか、「アROUND・メセナ」「メセナ散歩」「文化政策ウォッチング」の各コーナーで、より幅広い観点から記事を掲載できるようにし、通年の連載コラムも始めました。

2010年が協議会設立20周年であることから、一年を通じて「メセナ20年」を総括できるような特集を企画し、12月発行の67号は、同時期に開催された「メセナアワード」贈呈式のパンフレットも兼ねられるよう受賞活動を集集として紹介し、大賞受賞企業のトップインタビューを掲載しました。

さらに毎号、会員一覧を掲載し、協議会の広報ツールとしても活用しています。

またバックナンバーについて各号ごとの販売を開始したところ、関心ある特集テーマに沿った購入が見られました。

なお本誌の発行にあたっては、会員はじめ以下の企業10社よりご協賛をいただいております。

協賛：アサヒビール、板室観光ホテル大黒屋、近畿ろうきん(上半期のみ)、サントリーホールディングス、資生堂、損害保険ジャパン、第一生命保険、大日本印刷、ベネッセホールディングス、ワコール(五十音順)

(筆者等敬称略)

| 65号(6/15発行) 特集: メセナは変わる、メセナで変わる | |
|--|---|
| 巻頭言 | アート考/メセナ考 芸術と社会 堤 剛(チェリスト) |
| 特集 | 特集寄稿 息苦しい日本に、メセナはどんな風を吹かせるのか 熊倉純子(東京芸術大学音楽環境創造科 教授) |
| | メセナ「は」変わる [1]プログラムの変化[2]手法の変化[3]マネジメントの変化[4]意識の変化[5]担い手の変化[6]領域の変化 |
| | メセナ「で」変わる 地域が変わる、地域との関係が変わる / 経営が変わる、社員が変わる / アートが変わり、メセナも変わる |
| トップインタビュー | 芸術文化は活力の源泉、まちの魅力を高める 木村恵司(三菱地所[株] 取締役社長) |
| アROUND・メセナ | オルタナティブ・アートスペース 秋葉原にオープン 森田伸子(編集者) |
| メセナ散歩 | 朝日酒造 酒を造る里のものがたり |
| 文化政策ウォッチング | 市民公益税制は、新しい文化芸術活動を拓くか? 松原 明(シーズ・市民活動を支える制度をつくる会 副代表) |
| 連載コラム | 変化 いとうせいこう(作家、クリエイター) |

| 66号(9/15発行) 特集: クリエイティブの現在 | |
|----------------------------|--|
| 巻頭言 | アート考/メセナ考 「メセナって、当たり前」といえる社会 大原謙一郎(岡山県文化連盟会長/大原美術館理事長) |
| 特集 | 特集寄稿 クリエイティビティと社会デザイン 北山晴一(大阪樟蔭女子大学 教授/立教大学名誉教授) |
| | 子どものコミュニケーション力高める「広告小学校」 牧口征弘/田中 元 |
| | 誰もが出来事をつくり出すアーティスト 日比野克彦 |
| | 「デザインという眼鏡」で日本らしさを見直す ナガオカケンメイ |
| | 社会課題を「アート」で解決する 永田宏和 |
| | 地域の価値を見直し、独創的に発想する 木村俊昭 |
| トップインタビュー | 一人ひとりが社会とつながり、新しい価値を創造する 柏木 育([株]リクルート 代表取締役社長) |
| アラウンド・メセナ | 座・高円寺 空き地 で生まれる演劇 出会い 高尾 隆(東京学芸大学 准教授) |
| メセナ散歩 | シグマコミュニケーションズ 市民が集う 久良岐能舞台 小野光子(音楽学) |
| 文化政策 ウォッチング | 「デザイン・ソウル」 ソウル市のクリエイティブ政策の現在 太下義之(三菱UFJリサーチ&コンサルティング 芸術・文化政策センター主席研究員/センター長) |
| 連載コラム | 変化 表現としての放送 いとうせいこう(作家、クリエイター) |

| 67号(12/3発行) 特集: メセナ アワード 2010 | |
|-------------------------------|--|
| 巻頭言 | アート考/メセナ考 ことばでつながる社会を目指して 山根基世(LLP ことばの杜代表) |
| 特集 | 特集寄稿 二百年時計が教えてくれること 木下直之(文化資源学 東京大学教授) |
| | メセナ大賞 中村ブレイス[株] |
| | 音もてなし賞 京都ブライトンホテル[株] |
| | ことばの花賞 [株]資生堂 |
| | 印刷文化振興賞 凸版印刷[株] |
| | 写真家ニコリ賞 [株]ニコン |
| | 日本画応援賞 [財]山種美術財団 |
| | 文化庁長官賞 TOA[株] |
| トップインタビュー | 石見銀山の歴史・文化が育む夢を次代につなぐ 中村俊郎(中村ブレイス[株] 代表取締役) |
| アラウンド・メセナ | 「創造的過疎」をキーワードに山里が時代の先端をゆく 山下里加(京都造形芸術大学 准教授) |
| メセナ散歩 | 山田別荘 踊る!老舗旅館 |
| 文化政策 ウォッチング | 文化政策は何のために行うのか 小林真理(東京大学大学院人文社会系研究科 准教授) |
| 連載コラム | 変化 隙 いとうせいこう(作家、クリエイター) |

2.1-2. 情報システムによる発信

(1) ウェブサイト(<http://www.mecenat.or.jp/>)

ウェブサイトにて、会員のメセナ活動や募集情報を発信、メセナや文化振興に関連するデータやニュースを提供しました。ブログでは、旬の情報、読み手との距離感を縮めることを意識して、催し報告はじめ、事業や政策への興味を喚起する周辺情報などを伝え、公式サイトとの棲み分け・連動をはかりました。

また夏には、より幅広いステークホルダーに恒常的にメセナ情報を伝え、つながりを強くするべく、一般メールマガジン「メセナ What's Up」を創刊。各事業でご協力・ご参加いただいている企業・芸術団体等 約 3,200 人でスタート、随時登録を受け付けており、現在登録人数は約 3,600 人です。

秋には、周年事業(7.)に関連してツイッターを開始。インターネット上のオープンな場で、メセナを紹介・応援くださる方々などと日々コミュニケーションを展開しています。収集が難しい、企業メセナへの評価が見える機能にもなってきました。

なお、ウェブリニューアルは進行が遅れ、来期公開を予定しています。

(2) メセナ活動データベース「メセナビ」(<http://www.mecenavi.info/>)

「2010 年度メセナ活動実態調査」の回答にもとづき、企業約 540 社のメセナ活動情報データベースを制作しました(公開は 2011 年 1 月)。本年は、公式サイト(上記(1))との連動性を高め、利用者の需要が高そうなメニューを追加するなど、インターフェース内のリンク導線や検索機能を強化し、従来より直感的にさまざまな関連情報に辿りつけるように改善しました。

2.2 資料収集

企業メセナ・社会貢献、CSR 活動および文化政策、アートマネジメント等に関する情報収集活動を行いました。レファレンス対応も積極的に行っています。

また、閉架資料を整理し、各地のメセナ・アート情報の追加公開を進めました。あわせて公開中の蔵書が増加にともない利用しづらくなっているため、内容と並べ方の抜本的な見直しを実施、整備作業は 2011 年完了見込です。

公開時間： 月曜～金曜日、11:00～17:30(要電話予約)

利用者： 20 名(学生・研究者、芸術団体関係者、会社員、公益法人職員等)


2.3 出版

協議会設立 20 周年事業の一環として、『「メセナ」を知る本』(A4 変形、80 ページ)を発行しました。これまでの調査・研究・顕彰・助成事業を通じて蓄積してきたデータや事例を掲載するとともに、各部会ならびに部会長による分析・寄稿等で構成しています。12 月開催のメセナフォーラム(7.)の配布資料として活用した後は、既刊の出版物と同様に販売しています(定価 1,500 円)。

2.4 コーディネート事業

会員企業や自治体、教育機関などの要請に応じて、メセナに関するご相談やアドバイス、具体的なプログラム開発や企画協力、講師の派遣などを受託事業としてコーディネートしています。下記事業では、会員等からの要請に応じて具体的なメセナプログラムの運営に際し、協力しています。

| 企業・団体名 | 業 務 内 容 |
|------------------|---|
| トヨタ自動車 | <p>「トヨタ・アートマネジメント」プログラムのコーディネート</p> <p>アートマネジメント総合情報サイト「ネットTAM」(www.nettam.jp)の企画・運営、月例更新(コンテンツ編集)、ブログ更新、ツイッター管理、アンケートの企画・実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・月間アクセス:平均 40 万件(ページビュー:PV) 前年度:26 万件(PV) ・累計アクセス:約 1198 万件(PV) (2004 年 10 月～2010 年 12 月) <p>公募助成「トヨタ芸術環境 KAIZEN プロジェクト」の企画・運営 (採択企画のサポート)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>ネット TAM ロゴマーク</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>トヨタ芸術環境 KAIZEN プロジェクト</p> </div> </div> |
| アサヒビール 芸術文化財団 | <p>美術展:すみだ川アートプロジェクトの企画・推進およびアサヒ・アート・フェスティバル実行委員会参加</p> <p>すみだ川アートプロジェクト「遠藤一郎:いまみらい郷土資料館」展 会期 2010 年 6 月 26 日(土)～7 月 25 日(日) 会場 アサヒビール吾妻橋本部ビル 1 階ロビー(東京) すみだリバーサイドホール・ギャラリー 共催 墨田区、アサヒ・アート・フェスティバル実行委員会、すみだ川アートプロジェクト実行委員会</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>アサヒ・アート・フェスティバル実行委員会 上記展覧会が参加している「アサヒ・アート・フェスティバル 2010」の実行委員として、AAF 全体の運営にも協力。定例の会議に出席するほか、公募プロジェクトの選考委員、検証委員も務めています。</p> |

| | |
|----------------------------------|--|
| <p>東京都歴史文化財団・東京文化発信プロジェクト室</p> | <p>人材育成プログラム「Tokyo Art Research Lab」連続ゼミ 「アートプロジェクトを評価するために～評価のくなぜ?」を徹底解明の企画・運営、情報集配</p> <p>講座日程:全8回:7/13、8/3、9/14、10/12、11/16、12/14、1/11、2/15 毎月第3週の火曜日 19～21時)</p> <p>会場: Tokyo Artpoint Project Room 302(アーツ千代田 3331 内)</p> <p>主催等: 東京都、東京文化発信プロジェクト室(東京都歴史文化財団) / 評価講座共催: 企業メセナ協議会</p> <p>講座受講生: 16名</p> <p>内容:</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1回 「オープニングレクチャー & ワークショップ」(企業メセナ協議会) ・第2回 「助成財団の評価」...評価の観点、手法等(ゲスト: セゾン文化財団常務理事 片山正夫氏) ・第3回 「企業メセナの評価」...企業の社会貢献活動・メセナ活動の評価(ゲスト: アサヒビール芸術文化財団事務局長 加藤種男氏) ・第4回 「行政の政策評価」...行政の政策評価制度の概要、各種ガイドライン等。ゲスト: 柴沼雄一郎氏(総務省行政評価局政策評価官室 総括評価監視調査官) ・第5回 「アートプロジェクトの評価: ピア・モニタリング編」...関係者の相互評価。ゲスト: 芹沢高志氏(P3 art and environment エグゼクティブ・ディレクター / AAF 事務局長) ・第6回 「アートプロジェクトの評価: 継続・発展・振り返り編」...長期にわたる活動の評価。ゲスト: 雨森信氏(インディペンデントキュレーター / NPO 法人 remo 理事) ・第7回 「ロールプレイング・ディベート」 ・第8回 「プレゼンテーション & 講評」 <p>情報発信:</p>  <p>評価ゼミブログ http://evasemi.blogspot.com/ 評価ゼミ Twitter http://twitter.com/evasemi</p> |
| <p>跡見学園女子大学「企業メセナ・フィランソロピー論」</p> | <p>マネジメント学部「企業メセナ・フィランソロピー論」の担当 (2010年度秋学期 全15回 毎週水曜日5時限目 @茗荷谷キャンパス)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. イントロダクション 2. 【概論】企業の社会貢献: 歴史的背景と現状 企業市民から企業の社会的責任(CSR)まで 3. 【概論】フィランソロピーとはー日本におけるフィランソロピー活動の変遷と現状 4. 企業のCSRレポートを読みとこう 5～6. 【概論】企業メセナとはー日本における芸術文化支援の変遷と現状 7. 企業メセナの最新動向 「メセナ活動実態調査2010」結果と「メセナアワード2010」から読み解く 8. 活動事例 ゲスト: 資生堂 企業文化部 山内美根子氏 9. 活動事例 ゲスト: トヨタ自動車 社会貢献推進部 鈴木なを子氏 10. 企業メセナの最新事例 メセナアワード2010 受賞企業スピーチから 11. 活動事例 ゲスト: パナソニック コーポレートコミュニケーション本部 田中典子氏 12. 活動事例 ゲスト: ソニー CSR部 戸村朝子氏 13～14. 学生によるプレゼンテーション |

3. 調査研究提言事業

3.1 「2010年度メセナ活動実態調査」の実施

企業によるメセナ活動の実態調査は、4月～5月、4,287社を対象に調査票を発送し、660社から回答を得ました。今年度の調査では時事設問として「メセナ活動における社員参加」、「メセナ活動を行って印象に残ったエピソード」、「芸術文化振興のためにどこが支援すべきか」について尋ねました。

調査結果は「メセナレポート2010」(メセナノート特別号)として発行、今回はクロス分析や記述回答も傾向をまとめて掲載しています。

調査部会では、協議会設立当初より行ってきた実態調査の結果と当時の考察を振り返り、社会・企業・アートの変化と照らし合わせて、メセナ20年の動向を検証しました。そのまとめを周年事業(7.)の一環として発行した『「メセナ」を知る本』に収め、12月開催のメセナフォーラムにて、最新の調査結果とともに、調査事業を通じて読み解くメセナ20年の変遷として発表しました。

本年度の実態調査は文化庁「平成22年度芸術団体人材育成支援事業」に採択されています。

2010年度事業計画に掲げた「企業財団のメセナ活動実態調査」については2011年2月以降に実施予定です。

3.2 研究活動

(1) 研究部会 / 政策提言活動

2010年度研究テーマを「文化力アップ、企業力アップ」とし、具体的な研究項目として「“複合型メセナ”(複数の領域、特にアートと他の社会貢献分野を横断するメセナ活動)をポジティブな視点でとらえること」を目標に、領域横断型の活動を行う団体からゲストを招いて、ヒアリングを重ねました。

【部会開催状況】

| | | |
|-------|----------|---|
| 第1回部会 | 5/13(木) | 2010年の研究テーマの展開について |
| 第2回部会 | 7/30(金) | テーマ「領域横断型アート、メセナの可能性」～ゲストを招いてのヒアリング ゲスト：NPO法人プラス・アーツ理事長 永田宏和氏、エイブル・アート・ジャパン事務局長太田好泰氏 |
| 第3回部会 | 10/19(火) | 「領域横断型アート、メセナの可能性」～ゲストを招いてのヒアリング ゲスト：BEPPU PROJECT 代表理事 / アーティスト 山出淳也氏 |

4. 協力連携事業

4.1 全国メセナ組織との交流

各地でメセナ活動を行っている諸団体の連絡会である全国メセナネットワーク（加盟 16 団体）に引き続き参画、事務局を務めています。今年度の全国会議は創設 15 周年大会として東京開催、企業メセナ協議会の周年事業と共催にて行いました（開催概要は 7. 参照）。15 周年の節目に際し、地域メセナの担い手としての自負と発信意欲を高める各地の加盟団体と、今後の活動方針について活発な意見交換ができました。

事務局としては、初めてインターン生を導入。データベースや資料など事務局の管理体制を整備しました。また、ウェブコンテンツの充実を進める過程で、各地メセナ組織との交流・理解を深めました。

4.2 国際交流事業

【全体の振り返り】

韓国との交流が目覚しく発展しました。韓国メセナ協議会の視察団来日、韓国アーツカウンシルからの講師派遣要請まで、韓国側の積極的な働きかけで、両国関係者が相互に行き来するという、めったにない年となりました。

【個別の事項】

- 6/13、協議会準会員のセルバンテス文化センターと、09 年にシンポジウムを共催した国際交流基金から依頼を受け、「国際会議：女性のエンパワーメント」の実施に協力。新たなネットワークの形成につながりました。
- 6/30～7/2、韓国メセナ協議会（Korean Business Council for the Arts）会員 8 名が来日。「韓国における企業メセナの今後の進むべき道の参考にと、会員 4 社の取り組みを熱心に視察。1994 年に韓国協議会が設立されて以来 2 度目の来日となる今回、両国メンバーが参加しての「情報交換・交流会」が実現しました。（7/1@サントリー美術館。日本の協議会メンバー 21 名が参加。協力：サントリーホールディングス）。
- 8/6、日本の文化・芸術振興の現況を視察するために訪日していた香港立法議会内政委員会の議員団 12 名が、「企業の芸術文化支援を振興している協議会の業務内容を学ぶ」との目的で来日。加藤専務理事と懇談しました。
- 11/8、国際交流基金「文化人招へいプログラム」で来日したフィリピン文化センター館長 Raul M. Sunico 氏が来局。日本の企業メセナの現状、協議会の助成認定制度に関する質問にお答えする一方、フィリピンの文化政策の変化（政権交代前後）等フィリピンの文化事情を教えてくださいました。
- 11/19、韓国協議会の仲介によって、韓国アーツカウンシル(ARKO)が開催する国際メセナレクチャー「Special Lectures on Partnerships between Arts and Business」に企業メセナ会員が講師として招聘され、資生堂企業文化部長の一橋忠さんが講演されました。
- 韓国協議会の機関誌『メセナ』12 月号で日本の特集が組まれました。

5. 顕彰事業

「メセナ アワード 2010」

本年度も文化庁の後援のもと、「メセナ大賞」と「文化庁長官賞」の2部門からなる「メセナ アワード」を実施しました。4月1日～5月末までの募集に対し、両部門とも126件（113社・団体）の応募があり、全国から地域に根ざしたメセナ活動が多く寄せられました。

応募案件について大賞部会の協力を得ながら約3ヵ月にわたる調査・取材を行い、10月に実施した2回の審査会で以下の企業および団体の受賞を決定しました。今回は特に、長年にわたる取り組みが評価された活動と、独自の分野に貢献してきた活動が注目されました。

贈呈式は「メセナフォーラム」の一環として12月3日、東商ホールにて開催。受賞企業・団体代表者、文化庁近藤長官、審査委員も全員出席し、約300名の来場者を迎えて行いました（参照：7.周年事業）。

【メセナ大賞部門】

メセナ大賞 中村ブレイス(株)

「世界遺産 石見銀山」における企業経営と地域貢献

音もてなし賞 京都ブライトンホテル(株)

「リレー音楽祭 in アトリウム」の実施

ことばの花賞 (株)資生堂

「現代詩花椿賞」による詩の支援と振興

印刷文化振興賞 凸版印刷(株)

印刷博物館の運営

写真家ニコリ賞 (株)ニコン

写真文化とともに歩む ニコンサロンの運営と活動

日本画応援賞 (財)山種美術財団

山種美術館の運営

【文化庁長官賞部門】

文化庁長官賞 TOA(株)

音楽による次世代育成の多角的活動 TOA Meet! Music! Concept

メセナ アワード 2010 審査委員 (五十音順・敬称略)

逢坂恵理子（横浜美術館館長） 木下直之（文化資源学、東京大学教授）

小沼純一（音楽・文芸批評、音楽文化論、早稲田大学文学学術院教授）

白石美雪（音楽評論、音楽学、武蔵野美術大学教授） 扇田昭彦（演劇評論家）

中谷 巖（三菱UFJリサーチ&コンサルティング理事長、不識塾塾長）

鷲田清一（哲学者、大阪大学総長） 福地茂雄（企業メセナ協議会理事長）

6. 助成事業

助成認定制度利用状況

2010年度(4/1～2011/1/5)は、申請の受付を5回、助成選考委員会を4回開催し、申請件数168件のうち、認定件数は94件でした(下表(1)参照)。期間が例年と異なるため年度による比較は難しいですが、認定件数については、若干減少傾向にありました。

寄付金額については、3月が最も寄付金授受が多く、かつ年度により取扱い額の変動が大きいため、こちらも単純な比較はできませんが、1件当たりの寄付金額は若干減少傾向にありました。

2009年度(2009年4月～2010年1月)実績:

寄付件数1,164件、寄付金額50,350万円、平均値43万円

(1)認定件数

| | 認定件数 | 申請件数 | 備考 |
|------------------|------|------|-------------|
| 2010年度(選考委員会4回分) | 94件 | 168件 | 2/15選考委員会開催 |
| 2009年度(選考委員会6回分) | 180件 | 198件 | |

(2)寄付金額

| | 寄付件数 | 寄付金額 | 平均値 |
|-------------------------|--------|----------|------|
| 2010年度(4/1～2011/1/5取扱分) | 1,279件 | 41,966万円 | 33万円 |
| 2009年度(12か月分) | 1,474件 | 74,431万円 | 50万円 |

7. 周年事業

「メセナフォーラム 2010」の開催

協議会設立 20 周年記念事業として、2 日間にわたる「メセナフォーラム 2010」を開催しました。

「メセナアワード 2010」贈呈式とシンポジウムを初日に行い、企業メセナの成果と実績を発信するとともにその社会的・経営的意義について議論を深めました。2 日目は企業メセナ担当者だけでなく、自治体の文化政策や文化施設の職員、アート NPO、研究者、学生など、さまざまな立場で芸術文化振興にかかわる人々が集い、「ワールド・カフェ」の対話手法によりアートについて、芸術文化を通じて実現したい未来などについて語り合いました。

あわせて『「メセナ」を知る本』を発行し、メセナアワード受賞活動の事例や調査・研究事業で蓄積してきたデータや分析、助成認定制度の運用実績などにより「メセナ 20 年」を振り返る資料として配布・活用しました。

また機を同じくして全国メセナネットワークの創設 15 周年にあたることから、同ネットワークの 15 周年記念事業としても位置付け、共同主催としました。企画段階から実施まで、各部会・部会長、全国メセナネットワークと連携して進めるとともに、会員ほか 15 社からの協賛と協力を得て実現。広報面では「協議会 20 年」と「メセナアワード」をあわせて効果的に取材・掲載される記事が多数あったほか、Ustream 中継やツイッターなど新たなツールでの情報発信に努めました。

参加者からは「あらためて協議会が日本の文化・芸術に果たした役割の大きさに気がついた」「20 年分のアワードを振り返ると圧倒的な厚みを感じられる」といった声のほか、特にメセナ・カフェ参加者からは「メセナを接点として、多様な方々が集う光景には大変感慨深いものがあった」「共有した素晴らしいメセナ活動を自分の中に肉体化し、還元できればと思う」等、メールやツイッターが多く寄せられ、またこうした場を設けてほしいとの要望もありました。

【メセナフォーラム 2010 「創造力が社会をひらく」開催概要】

- 主催** 企業メセナ協議会、全国メセナネットワーク
- 協賛** 朝日新聞社、アサヒビール、キヤノン、京阪電気鉄道、サントリーホールディングス、資生堂、損害保険ジャパン、大日本印刷、トヨタ自動車、日本経済新聞社、富士ゼロックス、ベネッセホールディングス、ワコール
- 協力** ヒューマンバリュー、明治安田生命保険
- 後援** 文化庁

| | | |
|------------|--|---|
| 日 程 | 12月3日(金) 13:30~20:30 | 12月4日(土) 10:00~17:00 |
| 内 容 | 1) 「メセナアワード2010」贈呈式 2) シンポジウム「創造的で活力ある社会のために」 3) 記念レセプション・交流会 | 4) 「感じて、語る、メセナ・カフェ」 ～アートとのかかわりを考える一日～ 「ワールド・カフェ」の対話手法を用い、 メセナとアートについて語り合う一日 >>カフェセッション1~3 >>プレゼンテーション 「メセナの20年」を振り返る * 全国メセナネットワーク総会 (昼休憩時間に開催) |
| 会 場 | 東商ホール(東京商工会議所) 東京會館・東商スカイルーム | 丸の内 MY PLAZA ホール |
| 参加費 | 2) シンポジウム: 一般 3,000 円 / 会員・学生 1,000 円 3) 記念レセプション: 4,000 円 4) メセナ・カフェ: 一般 3,000 円 / 会員・学生 2,000 円 2日間通し券: 一般 5,000 円 / 全国メセナネットワーク・学生 3,000 円 「メセナアワード」贈呈式はご招待(無料) | |
| 参加者 | 約 300 名 | 約 120 名 |



「メセナアワード2010」受賞企業・団体代表者、審査委員、文化庁・近藤長官、
協議会・福原会長、福地理事長、箱島副会長、一橋大賞部会長



シンポジウム「創造的で活力ある社会のために」



「メセナ・カフェ」に予定延長で参加した近藤文化庁長官(左)

8. その他の活動

8.1 主な協力依頼等への対応状況

対応状況については、以下のとおりです。

委員・講師など

| 依頼内容 | 依頼元 | 内容(期間・開催日) |
|------|------------------------|---|
| 委員 | 静岡県県民部文化学術局文化政策室 | 静岡県文化政策審議会委員 (2010年1/15～2012年1/14) |
| 委員 | 東京都歴史文化財団 | 東京文化発信プロジェクト外部評価委員(2010年6月～2012年5月、年1回) |
| 委員 | トリトン・アーツ・ネットワーク | トリトン・アーツ・ネットワーク評価委員会(2008～2010度) |
| 委員 | 横浜市芸術文化振興財団 | 「平成22年度横浜における創造的活動助成・先駆的芸術活動部門」選考委員会(5/19、9/1) |
| 委員 | 埼玉県県民生活部文化振興課 | 埼玉県文化活動サポート団体助成事業審査委員会(5/31) |
| 委員 | 横浜市芸術文化振興財団 | 「平成22年度横浜における創造的活動助成」企業・団体による創造的事業部門選考委員会(7/22) |
| 委員 | 横浜市市民局広報課 | 横浜市広報企画審議会(2010～2011年度、年2回) |
| 委員 | 国際交流基金 | 「2010年度国際交流基金地球市民賞」選考委員会(11/12、12/10) |
| 委員 | 京都文化ベンチャーコンペティション実行委員会 | 「第4回京都文化ベンチャーコンペティション」審査委員会(12/20) |
| 委員 | 文化庁長官官房政策課 | 文化芸術創造都市の推進事業審査委員会(6/24) |
| 委員 | 地域創造 | 平成22年度「文化・芸術を活用した地域活性化に関する調査研究会・事例検討会(年3～4回) |
| 委員 | 千葉県環境生活部県民活動・文化課文化振興室 | ちば文化懇談会(9/1、11/22) |
| 委員 | 日本芸術文化振興会 | 文化芸術活動への助成に係る審査・評価に関する調査研究会(2010年12/28～2012年3/31) |
| 委員 | 文化庁 | 「くらしの文化」実態及び振興方策に関する調査研究事業に係る技術審査専門員(12月) |
| 講師 | 横浜市芸術文化振興財団 | アーツコミッション・ヨコハマ「助成金講座」(8/25) |
| 講師 | 公立大学協会 | 平成22年度公立大学協会東海北陸地区協議会シンポジウム「地域の元気は、芸術文化の元気から」基調講演・シンポジウムパネリスト(9/10) |
| 講師 | 浜松市文化振興財団 浜松市アクトシティ音楽院 | 主催者養成セミナー「企業メセナについて」(9/30) |
| 講師 | NPO 法人劇場創造ネットワーク | 座・高円寺教育プログラム「劇場創造アカデミー」2年度カリキュラム「企画・プレゼンテーション」(10/18) |
| 講師 | 実践女子大学 | 実践女子大学文学部美学美術史学科「文化経営論」(12/8) |
| 講師 | 日本女子体育大学 | 日本女子体育大学「ダンス制作論」(12/17) |
| 講師 | NPO 法人大阪現代舞台芸術協会 | 舞台芸術ゼミナール(12/25) |

ほか、審査員1件

共催・後援・協力

| 依頼内容 | 依頼元 | 内容(期間・開催日) |
|-----------|-----------------------|---|
| 後援 | 日本ユネスコ協会連盟 | 未来遺産運動(通年継続事業) |
| 後援 | ホテルオークラ東京 | チャリティーイベント“アートは世界の子どもを救う” 「第16回秘蔵の名品 アートコレクション展」 (8/4-8/29) |
| 後援 | NPO 法人日本 NPO センター | 「市民セクター会議全国会議 2010」(11/22-23) |
| 協力 | 日本経営クラブ | 第27回 JMC [「ミドルの日」] 提言 & コンサート (7/27) |
| 協力(専門家出席) | 東京芸術文化評議会芸術文化活動支援小委員会 | 東京芸術文化評議会 芸術文化活動支援小委員会 第2回～寄附に関する意見交換(6/18) |

8.2 インターンシップ受け入れ

調査研究事業、ライブラリー資料整理、セミナー・会議運営サポートなど、事業アシスタントとして業務を担当いただきました。

| 派遣元・プログラム名 | 人数 | 期間 |
|------------|----|--|
| 個人 | 4名 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 2009年11月19日～2010年10月31日(1名) ・ 2010年2月19日～5月25日(1名) ・ 2010年9月21日～2010年10月29日(1名) ・ 2010年12月1日～2011年3月31日(1名) |

以上